E 2 本日の試合結果一覧

開催日 **2020/01/19**

2019-20 V.LEAGUE DIVISION1 MEN

試合番号	196	試合会場	ジェイテクトアリーナ奈良(奈良県立橿原公苑第１体育館)	観客数	1,191
開始時間	12:00	終了時間	14:00	試合時間	02:00
主審	城　智人	副審	西中野　健		

FC東京	通算	5 勝 15 敗 ポイント： 13				VC長野トライデンツ	通算	2 勝 18 敗 ポイント： 6
		3	26	第1セット	24	1		
			23	第２セット	25			
			25	第３セット	17			
			25	第４セット	20			
				第５セット				

監督コメント（FC東京）

この奈良大会において連勝できたことは、チームにとって非常に大きな自信になると思う。
特に第４セット序盤に、プレモビッチに代わって入った近江を始め、チーム全員の力で勝ち取った３ポイントであった。
来週以降も厳しい戦いが続くが、しっかり準備して大阪大会でもポイントを勝ち取りたい。
今週も大きな声援ありがとうございました。

監督コメント（VC長野トライデンツ）

本日の試合も大事な一戦でした。第１セットをリードしていながら取れなかったのが全てです。
敗けてしまいましたけれどリーグ戦はあと７試合、最後まで諦めずプレーをしたいです。
遠くまで応援に来てくださりありがとうございました。

要約レポート

第１セット、両者一歩も引かない攻防の中、VC長野トライデンツはパトリックのスパイクでリードするも、FC東京は橋の粘りのレシーブや迫田、佐藤のスパイクで追いつく。その勢いのままFC東京は井上のサーブなどで得点を重ねていき、栗山のブロックでこのセットを取る。
第２セット、VC長野はパトリックのサービスエース・バックアタックや笠利のブロックで連続得点し流れを掴む。FC東京はプレモビッチのスパイクやブロックで得点を重ねるも、VC長野は池田のスパイクなどの強力な攻撃でセットを取り返す。
第３セット、両チームともアタックの打ち合いで１点を取り合う展開が続いたが、FC東京は手原のサービスエースなどで５連続得点をし突き放した。VC長野は波佐間がサービスエースを取り流れを掴もうとするが、勢いに乗ったFC東京が第３セットをものにする。
第４セット、序盤、FC東京が前のセットの勢いのままリードを広げる。VC長野はパトリックのサーブや栗木のスパイクで応戦し終盤追い上げるも、勢いに乗ったFC東京がセットを連取し勝利した。

試合番号	197	試合会場	ジェイテクトアリーナ奈良(奈良県立橿原公苑第１体育館)	観客数	2,250
開始時間	15:00	終了時間	16:16	試合時間	01:16
主審	森口　豊	副審	冨田　博一		

ジェイテクトSTINGS	通算	19 勝 1 敗 ポイント： 53				東レアローズ	通算	8 勝 12 敗 ポイント： 27
		3	25	第１セット	14	0		
			25	第２セット	20			
			25	第３セット	20			
				第４セット				
				第５セット				

監督コメント（ジェイテクトSTINGS）

選手一人ひとりが各々の持ち味を発揮してくれ、終始我々のペースで試合を進めることができました。また、ホームゲームの大声援が我々の勢いを後押ししてくれました。本当に感謝いたします。
また次の試合に向けて準備してまいります。
橿原大会の二日間、たくさんの応援ありがとうございました。来週も引き続き応援のほどよろしくお願いいたします。

監督コメント（東レアローズ）

今日は首位のジェイテクトのホームゲームであり、厳しい試合となりました。
やはり、西田選手とカジースキ選手のサーブでかなり崩されてしまいました。相手のサーブによる失点が多く出てしまったことで苦しい状況を作ってしまいました。
次にジェイテクトと戦うには、我々がプレーオフに進めなければいけないので、ファイナルステージに進めるようチームで高めていきたいと思います。
本日もたくさんの応援ありがとうございました。

要約レポート

第１セット、ジェイテクトSTINGSは西田のサーブで流れを掴む。東レアローズは藤井のトスワークからの多彩な攻撃で得点を重ね追いつくが、ジェイテクトは西田の３連続サービスエースで更に勢いに乗りこのセットを取る。
第２セット序盤、ジェイテクトは西田とカジースキのアタックが決まり、徐々に点差を広げる。東レはルジェのスパイクや高橋のブロックで得点を重ねるが、ジェイテクトは西田やカジースキのアタックで突き放しセットを連取する。
第３セット、東レは粘りのレシーブから流れを作り、序盤リードする。しかし、ジェイテクトは西田のアタックや浅野のサーブで追いつき、その勢いのままこのセットを取り、二日間のホームゲームを連勝で終えた。

試合番号	198	試合会場	沖縄市体育館	観客数	2,374
開始時間	12:00	終了時間	13:31	試合時間	01:31
主審	服部 篤史	副審	浅井 唯由		

JTサンダーズ広島	通算	16 勝 4 敗 ポイント： 47				堺ブレイザーズ	通算	8 勝 12 敗 ポイント： 25
		3	25	第１セット	20	0		
			25	第２セット	18			
			25	第３セット	20			
				第４セット				
				第５セット				

監督コメント（JTサンダーズ広島）

勝利しただけでなく、内容にも満足できる試合だった。
ここ数試合、勝利を収めながらも自分たちの良さをなかなか出すことができなかったが、内容も高いレベルだった。
沖縄のファンの皆様ご声援ありがとうございました。

監督コメント（堺ブレイザーズ）

今日は、昨日よりもいい試合をしようと臨みました。
ゲームプランとしては、アウトサイドに多く得点を取ることを期待していましたが、相手のサーブに崩され思うような展開を作ることができませんでした。
一戦一戦、成長していけるよう引き続き勝利を目指して戦いますので、応援よろしくお願いします。

要約レポート

第１セット出だしは堺ブレイザーズが調子よく５－１とリードするも、陳のブロックやエドガーのアタック、中島のサービスエースなどで連続得点を重ねたJTサンダーズ広島が追いすがる堺を25－20で退けた。
第２セット意地を見せたい堺は千々木や樋口、出耒田、竹元のアタックで踏ん張り、中盤まで一進一退を繰り広げる。しかし中盤以降、JT広島は中島のスパイクをきっかけに、堺の攻撃をブロックで防ぎ25－18で退けた。
第３セット序盤、JT広島は陳のサーブで堺を崩し６－１とリードしたが、堺の千々木、樋口、宮原らがスパイクで踏ん張り、競り合いを見せた。終盤はエドガーのスパイクなどで着実に得点を重ねてJT広島が25－20で堺を下し、Ｖ・ファイナルステージ進出を決めた。

試合番号	199	試合会場	沖縄市体育館	観客数	2,832
開始時間	15:00	終了時間	16:26	試合時間	01:26
主審	原 啓之	副審	山本 晋五		

パナソニックパンサーズ	通算	18 勝 2 敗 ポイント： 53				大分三好ヴァイセアドラー	通算	2 勝 18 敗 ポイント： 8
		3	25	第１セット	21	0		
			25	第２セット	22			
			26	第３セット	24			
				第４セット				
				第５セット				

監督コメント（パナソニックパンサーズ）

まずは沖縄でのホームゲームを２連勝できたこと、本当によく選手一人一人が集中し戦い抜いてくれました。
誰が出ても勝てるチームにはまだだと思いますが、選手も同じ気持ちでしっかり戦ってくれていることを本当にうれしく思います。
２日間たくさんのご声援本当にありがとうございました。
今後とも宜しくお願いします。

監督コメント（大分三好ヴァイセアドラー）

各セット共に終盤にポイントがとれず悔しい結果となりました。
来週のホームゲームに向けしっかり準備していきたいと思います。
沖縄での試合は大変良い雰囲気でバレーボールができて幸せでした。本日もありがとうございました。

要約レポート

第１セット、パナソニックパンサーズは山内、渡辺などの活躍で７－５と序盤リードする。対する大分三好ヴァイセアドラーはバグナス、ヤカンのスパイクや林のブロックなどで15－14と逆転する。終盤はパナソニック渡辺、久原の両エースが活躍、デビュー戦となった仲本の効果的サーブもあり25－21でセットを先取した。
第２セット、大分三好はバグナス、勝を中心とした攻撃、パナソニックはセッター深津を中心としたコンビバレーの応酬で中盤まで接戦となった。17-16とパナソニックリードからリリーフサーバー仲本のサービスエースでリードを広げたパナソニックが着実に得点しセットを連取した。
第３セットは両者譲らず終盤まで大接戦となる。20－18パナソニックリードの場面で大分三好は勝、木本やリリーフサーバー田尻の活躍で24－23と逆転するが、最後はパナソニック渡辺のスパイクやサーブ、兒玉のブロックで３連続得点し勝利を飾った。

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。